

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(豊中)共創環境形成拠点	階数	地上7F
建設地	大阪府豊中市待兼山町、池田市石橋	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住専、準防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2023年02月17日
敷地面積	3,129 m <sup>2</sup>	作成者	前田 英男
建築面積	856 m <sup>2</sup>	確認日	2023年3月25日
延床面積	5,047 m <sup>2</sup>	確認者	西尾 章治郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 78%  
③上記+②以外の 78%  
④上記+ 78%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.6
空気質環境	4.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

機能性	2.5
耐用性	3.4
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.8
地域環境	2.8
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	2.0% ≤ [屋光率] < 2.5% 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。 ビル全体の禁煙が確認されている。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。 給水VP(B)、給湯SUS(C)、通気VP(A)を使用し、Eは不使用。 階高: 3.9m以上。
<b>LR1 エネルギー</b>	BPI <sub>m</sub> = 0.57。 BEI <sub>m</sub> = 0.66。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSとOAフロアを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。
		<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率78% 燃焼機器を使用していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0067

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪大学(豊中)共創環境形成拠点新営その他工事						
	建設地	大阪府豊中市待兼山町、池田市石橋						
	用途/区分	学校(大学等)						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	BPI <sub>m</sub> =0.57。 BEI <sub>m</sub> =0.66。 ライフサイクルCO2排出率78%						